

2D イメージスキャナー  
共通

プログラミングマニュアル

## はじめにお読みください

この度はバーコードスキャナーのお買い上げありがとうございます。

通常のご使用は、購入時の設定でお使いいただけますが、変更が必要な場合は、本書をお読みいただき、設定を行ってください。

また、ご使用にあたり不都合、不具合、不明な点等ございましたらマニュアル巻末の「困ったときは」を参照してください。

なお、解決しない場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

Copyright © 2008. All rights reserved.

No warranty of any kind is made in regard to this material, including, but not limited to, implied warranties of merchantability or fitness for any particular purpose. We are not liable for any errors contained herein nor for incidental or consequential damages in connection with furnishing, performance or use of this material. We shall be under no liability in respect of any defect arising from fair wear and tear, willful damage, negligence, abnormal working conditions, failure to follow the instructions and warnings, or misuse or alteration or repair of the products without written approval. No part of this document may be reproduced, transmitted, stored in a retrieval system, transcribed, or translated into any human or computer or other language in any form or by any means electronic, mechanical, magnetic, optical, chemical, biological, manual or otherwise, except for brief passages which may be quoted for purposes of scholastic or literary review, without express written consent and authorization. We reserve the right to make changes in product design without reservation and without notification. The material in this guide is for information only and is subject to change without notice. All trademarks mentioned herein, registered or otherwise, are the properties of their various, ill, assorted owners.

### **取扱上の注意**

- ・ スキャナーを焼却処分しないでください
- ・ 直射日光が当たる場所、熱を発する場所には保管しないでください
- ・ スキャナーを湿度の高い場所での使用、保管をしないでください
- ・ スキャナーを落としたり、ぶつけたりしないでください
- ・ スキャナーを分解しないでください

# 目次

## 接続および設定方法

RS-232C 接続 .....	1
USB 接続 .....	1
USB 接続 (COM ポートエミュレーション使用時) .....	2
SNAPI 使用時のドライバーインストール .....	3
スキャン方法について .....	4
パラメータ設定方法 .....	5
工場出荷時のデバイス設定デフォルト値 .....	6
バージョン情報表示 .....	6

## デバイス設定

工場出荷状態に戻す .....	6
パラメータバーコードのスキャン .....	7
ピープ音の音階 .....	7
ピープ音のボリューム .....	7
トリガーモード .....	8
低消費電力モード .....	8
低消費電力切り替わり時間 .....	9
読み取り可能時間 .....	10
同一コード読み取り遅延 .....	10
読み取り成功時ピープ音 .....	10
[プレゼンテーションモード]時の読み取り可能時間 .....	11

## デコードモード設定

デフォルト値 .....	12
スナップショットモード .....	13
自動露出 .....	14
照明 .....	14
照準 .....	14
画像取り込み時 自動露出 .....	15
画像取り込み時 照明 .....	15
ゲイン (感度) .....	15
照射時間 .....	16
スナップショットモードタイムアウト .....	17
スナップモード照準 .....	17
画像切り出し .....	17
画像切り出し値指定 .....	18
画像縮小 .....	19
JPEG 最適化 .....	19
JPEG 最適化の値設定 .....	20
出力画像のファイル形式 .....	20
1 画素あたりのビット数 (BPP) .....	21
署名取り込み .....	21

出力署名のファイル形式.....	22
署名 1 画素あたりのビット数 (BPP) .....	22
署名取り込み幅.....	23
署名取り込み高さ.....	23
署名 JPEG 品質.....	23
ビデオビューファインダー.....	24
ビデオフレームサイズ.....	24
ビデオビューファインダー画像サイズ.....	24
シリアル接続設定 (RS-232C)	
デフォルト値.....	25
特定のデバイス.....	26
コード ID キャラクタ.....	27
接続するホストの選択.....	28
ボーレート.....	29
パリティ.....	30
ストップビット.....	30
データビット.....	31
データ受信時エラーチェック.....	31
ハードウェアハンドシェイク.....	32
ソフトウェアハンドシェイク.....	34
レスポンスタイムアウト.....	35
RTS 線の状態.....	36
<BEL>キャラクタによるビーブ音.....	36
キャラクタ間の遅延.....	36
ビーブ音・LED オプション (Nixdorf Mode B 専用).....	37
不明なキャラクタ.....	37
USB 接続設定	
デフォルト値.....	38
USB デバイスタイプ.....	39
Symbol native API (SNAPI) ハンドシェイクステータス.....	39
キーボードタイプ.....	40
キャラクタ間遅延.....	41
Caps Lock 無視.....	41
不明なキャラクタ.....	42
キーパッド.....	42
FN1 置き換え.....	42
ファンクションキー割り当て.....	43
Caps Lock シミュレート.....	43
大文字・小文字の変換.....	43
バーコード設定	
デフォルト値.....	44
UPC/EAN/JAN	

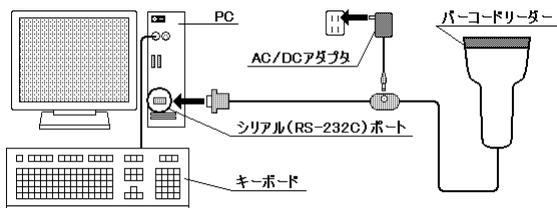
UPC-A 読み取り.....	48
UPC-E 読み取り.....	48
UPC-E1 読み取り.....	48
EAN-8/JAN 8 読み取り.....	48
EAN-13/JAN 13 読み取り.....	49
Bookland EAN 読み取り.....	49
UPC/EAN/JAN アドオン(2桁と5桁).....	49
UPC/EAN/JAN アドオン照合.....	50
UPC-A チェックデジット送信.....	51
UPC-E チェックデジット送信.....	51
UPC-E1 チェックデジット送信.....	51
UPC-A プレマブル(国コードとNS)(JAN13の先頭が「0」).....	52
UPC-E プレマブル(国コードとNS).....	52
UPC-E1 プレマブル(国コードとNS).....	53
UPC-E を UPC-A に変換.....	53
UPC-E1 を UPC-A に変換.....	53
EAN-8/JAN 8 を EAN-13/JAN 13 に変換.....	54
UCC Coupon Extended Code 読み取り.....	54
Code 128	
Code 128 読み取り.....	55
UCC/EAN-128 読み取り.....	55
ISBT 128 読み取り.....	55
Code 39	
Code 39 読み取り.....	56
Trioptic Code 39 読み取り.....	56
Code 39 を Code 32 に変換.....	56
Code 32 プリフィックス.....	57
Code 39 読み取り桁数.....	57
Code 39 チェックデジット検証.....	58
Code 39 チェックデジット送信.....	59
Code 39 Full ASCII 変換.....	59
Code 39 バッファリング.....	59
Code 39 バッファクリア.....	60
Code 39 バッファ送信.....	60
Code 93	
読み取り.....	61
読み取り桁数.....	61
Code 11	
読み取り.....	63
読み取り桁数.....	63
チェックデジット検証.....	64
チェックデジット送信.....	65

Interleaved 2 of 5 (ITF)	
読み取り.....	66
読み取り桁数.....	66
チェックデジット検証.....	67
チェックデジット送信.....	68
EAN-13 に変換.....	68
Discrete 2 of 5 (DTF)	
読み取り.....	69
読み取り桁数.....	69
Codabar (NW-7)	
読み取り.....	71
読み取り桁数.....	71
CLSI 編集.....	72
スタート・ストップキャラクタ送信.....	73
MSI	
読み取り.....	74
読み取り桁数.....	74
チェックデジット検証.....	75
チェックデジット送信.....	76
チェックデジットアルゴリズム (検証方法).....	76
郵便コード	
US Postnet 読み取り.....	77
US Planet 読み取り.....	77
UK Postal 読み取り.....	77
UK Postal チェックデジット送信.....	77
Japan Postal 読み取り.....	78
Australian Postal 読み取り.....	78
Dutch Postal 読み取り.....	78
US Postal チェックデジット送信.....	78
GS1 DataBar (RSS)	
GS1 DataBar Omnidirectional (RSS 14) 読み取り.....	79
GS1 DataBar Limited (RSS Limited) 読み取り.....	79
GS1 DataBar Expanded (RSS Expanded) 読み取り.....	79
UPC/EAN に変換.....	79
コンボジット	
CC-C 読み取り.....	80
CC-A/B 読み取り.....	80
TLC-39 読み取り.....	80
UPC コンボジットモード.....	81
ビーブ音のモード.....	81
UCC/EAN コンボジットコードに対する UCC/EAN Code 128 エミュレーション.....	81

2次元コード	
PDF 417 読み取り.....	82
Micro PDF 417 読み取り.....	82
Micro PDF 417 を Code 128 にエミュレーション.....	82
Data Matrix 読み取り.....	83
MaxiCode 読み取り.....	83
QR コード読み取り.....	83
セキュリティレベル	
照合レベル.....	84
セキュリティレベル.....	85
キャラクタ間ギャップサイズ.....	86
Macro PDF	
Macro PDF 送信モード.....	87
コントロールヘッダー送信.....	88
エスケープ文字.....	88
バッファデータ送信.....	88
バッファリング中止.....	88
その他のオプション	
デフォルト値.....	89
コード ID 送信.....	90
プリフィックス・サフィックス値.....	90
送信データフォーマット.....	91
FN1 代替値.....	92
ノーリードメッセージ送信.....	92
数字バーコード.....	93
キャンセルバーコード.....	94
シンボルコード ID 一覧.....	95
AIM コード ID 一覧	
コードキャラクタ表.....	96
修飾キャラクタ表.....	97
ASCII キャラクタ設定用コード表.....	101
ALT キーセット設定用コード表.....	104
GUI キーセット設定用コード表.....	105
PF キーセット設定用コード表.....	106
ファンクションキーセット設定用コード表.....	106
テンキーセット設定用コード表.....	107
拡張キーセット設定用コード表.....	107
困ったときは (FAQ)	
設定に関するもの.....	108
ハードウェアに関するもの.....	110
サンプルバーコード.....	111

## 接続および設定方法

### RS-232C 接続

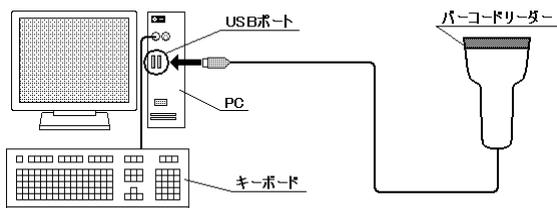


- ・AC/DC アダプタのプラグをバーコードリーダーの AC/DC アダプタ差込口に接続
- ・RS-232C コネクタを PC のシリアル(RS-232C)ポートに接続
- ・AC/DC アダプタをコンセントに接続

#### 設定

マニュアル P28 「接続するホストの選択」項目内の[標準]のバーコードをスキャン。  
マニュアル P29 「シリアル接続設定」項目内の通信設定(ボーレート等)を行ってください。  
設定方法は、マニュアル P5「パラメータ設定方法」をご参照ください。

### USB 接続



- ・USB コネクタを PC の USB ポートに接続

#### 設定

マニュアル P39 「USB デバイスタ입」項目内の[HID キーボードエミュレーション]のバーコードをスキャン。  
マニュアル P40 「キーボードタイプ」項目内の[日本版 Windows]のバーコードをスキャン。

## 接続および設定方法

### USB 接続(COM ポートエミュレーション使用時)

USB 接続にて COM ポートエミュレーションを使用してシリアル通信を行います。

接続方法はマニュアル P1 の「USB 接続」を参照ください。

COM ポートエミュレーションを使用する場合は、ドライバーをインストールする必要があります。以下に説明します。

- ① CD 内の「drivers¥Symbol COM Port Emulation Driver v 〇.〇.〇(〇.〇.〇はバージョン)」フォルダの中の「Symbol COM Port Emulation Driver v 〇.〇.〇.exe」を実行します。
- ② セットアップ画面が表示されましたら、[Next >]ボタンをクリックします。
- ③ 許諾契約画面が表示されましたら、[I accept the agreement]を選択して[Next >]ボタンをクリックします。
- ④ インストール開始画面が表示されましたら、[Install]ボタンをクリックします。インストールが開始されます。
- ⑤ インストールが完了しましたら、[Finish]ボタンをクリックします。インストールが完了されます。
- ⑥ P39 の[USB デバイスタイプ]の[COM ポートエミュレーション]バーコードをスキャンします。

## SNAPI 使用時のドライバーインストール

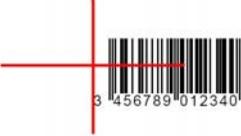
**※通常は使用しませんので設定しないでください**

USB 接続にて SNAPI を使用すると画像のキャプチャや制御ができます。  
SNAPI を使用する場合は、ドライバーをインストールする必要があります。  
以下に説明します。

- ① CD 内の「drivers¥Symbol SNAPI USB Imaging Dirver v〇.〇.〇」(〇.〇.〇はバージョン)フォルダの中の「Symbol SNAPI USB Imaging Driver v 〇.〇.〇.exe」を実行します。
- ② セットアップ画面が表示されましたら、[Next >]ボタンをクリックします。
- ③ 許諾契約画面が表示されましたら、[I accept the agreement]を選択して[Next >]ボタンをクリックします。
- ④ インストール開始画面が表示されましたら、[Install]ボタンをクリックします。インストールが開始されます。
- ⑤ インストールが完了しましたら、[Finish]ボタンをクリックします。インストールが完了されます。
- ⑦ P39 の[USB デバイスタイプ]の[Symbol Native API (SNAPI) イメージあり]バーコードか [Symbol Native API (SNAPI) イメージなし]バーコードをスキャンします。

## スキャン方法について

スキャナーは全方位スキャンが可能です。スキャンする際のバーコードの向きは関係ありません。しかし、照準パターンの範囲内にバーコードが収まるようにしてください。

読み取り OK	読み取り NG
	
	

## パラメータ設定方法

パラメータの設定は、マニュアルに記載されているバーコードをスキャンすることにより変更されます。ほとんどのパソコン用モニターでスクリーン上のバーコードを読み取ることができますので、本書を印刷しなくても設定ができます。ただし、バーコードが明確に表示されるよう拡大する必要があります。

設定の操作には 2 種類あります。

- ・1 つのバーコードを読み取り設定変更
- ・値の変更が必要な場合は、複数バーコードを読み取り変更

上記の 2 種類の操作方法を説明します。

### 1 つのバーコードを読み取り設定変更

例: ビープ音を小さくする(デフォルトは「大」)



- ① 「ビープ音のボリューム」項目内の「小」バーコードをスキャンします。
- ② 「ピロピロッ！」と音が鳴り設定が完了します。

※デフォルトで設定されている値は、内容がグレーの網掛けになっております。

### 値の変更が必要な場合は、複数バーコードを読み取り変更

例: プリフィックスに「A」を設定する



- ① 「プリフィックス・サフィックス値」項目内の「プリフィックス」バーコードをスキャンします。「ピッポッ！」と音が鳴ります。



- ② 「数字バーコード」項目内の「1」、「0」、「6」、「5」を順番にスキャンします。「1」、「0」、「6」は「ピッポッ！」と音が鳴ります。「5」は「ピロピロッ！」と音が鳴り設定が完了します。

※設定した後に「送信データフォーマット」の設定を行う必要があります。(プリフィックス・サフィックスを設定した場合)

※「数字バーコード」にて範囲外の数値をスキャンしますと「ポーピーッ！」と音が鳴ります。その場合は、もう一度はじめてから設定してください。

## 工場出荷時のデバイス設定デフォルト値

パラメータ	値
パラメータバーコードのスキャン	有効
ビープ音の音階	中音
ビープ音のボリューム	大
トリガーモード	トリガーモード
低消費電力モード	有効
低消費電力切り替わり時間	1 秒
読み取り可能時間	9.9 秒
同一コード読み取り遅延	0.6 秒
読み取り成功時ビープ音	鳴らす
トリガーモード 「プレゼンテーションモード」時読み取り可能時間	2 秒

## バージョン情報確認



ファームウェアのバージョン情報表示

## デバイス設定



工場出荷状態に戻す

全てのパラメータがデフォルトに戻ります。

**定置式 2D スキャナー「Z-5152」はスキャンしないでください！**

### ※注意

「工場出荷状態に戻す」のバーコードをスキャンしますと、「トリガーモード」は「レベルモード(トリガーボタンを押してスキャンする)」に変更されます。しかし、定置式 2D スキャナー「Z-5152」はトリガーボタンがありません。「工場出荷状態に戻す」のバーコードをスキャンしますと読取ができなくなり設定を戻すことができませんので、絶対にスキャンしないでください。

## デバイス設定

### パラメータバーコードのスキャン

パラメータ設定用バーコードの読み取り有無を設定します。



有効



無効

(「工場出荷状態に戻す」または「有効」は読取り可能)

### ビープ音の音階



低音



中音



高音

### ビープ音のボリューム



小



中



大

## デバイス設定

### **トリガーモード(定置式 2D スキャナー「Z-5152」は設定しないでください！)**

読み取り方法の設定になります。



レベルモード

トリガーボタンを一度押しますとアクティブになり  
読み取り可能になります。



プレゼンテーションモード

自動で物体を検出し読み取ります。



ホストモード

ホスト側のコマンドにて制御します。  
また通常(レベルモード)と同様に、トリガーボタンを一度  
押しますとアクティブになり読み取り可能になります。

**※通常は使用しませんので設定しないでください**

### **※注意:**

**定置式 2D スキャナー「Z-5152」はトリガーボタンがありません。  
「Z-5152」にて[プレゼンテーションモード]以外をスキャンしますと、  
読取ができなくなり設定を戻すことができません。絶対に設定しな  
いでください。**

### 低消費電力モード

スキャンを行った後は、自動的に低消費電力に切り替わります。



低消費電力モード



常にパワーオン

## デバイス設定

### 低消費電力切り替わり時間

低消費電力に切り替わるまでの時間を設定します。

※[低消費電力モード]の場合のみ適用されます。



1 秒後



5 秒後



1 分後



5 分後



15 分後



1 時間後

## デバイス設定

### 読み取り可能時間

設定した時間までスキャンを試みます。

0.5 秒から 9.9 秒まで 0.1 秒単位で設定ができます。

デフォルトは 9.9 秒です。

※設定方法(例えば 0.5 秒を設定する)

- ①下の[読み取り時間設定開始]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



読み取り時間設定開始

### 同一コード読み取り遅延

※「スキャンモード」にて[プレゼンテーションモード]の場合のみ適用されます。

読み取り可能時間内に同一コードを再び読み取るまでの時間を設定します。

0.0 秒から 9.9 秒まで 0.1 秒単位で設定ができます。

デフォルトは 0.6 秒です。

※設定方法(例えば 0.5 秒を設定する)

- ①下の[同一コード読み取り遅延設定開始]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



同一コード読み取り遅延設定開始

### 読み取り成功時ピープ音

読み取りが成功した時のピープ音を鳴らす設定です。



鳴らす



鳴らさない

## デバイス設定

### [プレゼンテーションモード]時の読み取り可能時間

[プレゼンテーションモード]時に設定した時間までスキャンを試みます。

0.1 秒から 25.5 秒まで 0.1 秒単位で設定ができます。

デフォルトは 2 秒です。

※設定方法(例えば 0.5 秒を設定する)

- ①下の[読み取り時間設定開始]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[0]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



読み取り時間設定開始

## デコードモード設定のデフォルト値

パラメータ	値
自動露出	有効
照明	有効
照準	有効
画像取り込み時自動露出	有効
画像取り込み時照明	有効
ゲイン(感度)	100
照射時間	10 ミリ秒
スナップショットモードタイムアウト	0(30 秒)
スナップショットモード照準	有効
画像切り出し	無効
画像切り出し値指定	上=0、下=479、左=0、右=639
画像縮小	最大(640×480)
JPEG 最適化	品質
JPEG 品質	65
JPEG ファイルサイズ	40(40960 バイト)
出力画像のファイル形式	JPEG
1 画素あたりのビット数(BPP)	8BPP
署名取り込み	無効
出力署名のファイル形式	JPEG
署名 1 画素あたりのビット数(BPP)	8BPP
署名取り込み幅	400
署名取り込み高さ	100
署名 JPEG 品質	65
ビデオビューファインダー	無効
ビデオフレームサイズ	2200 バイト
ビデオビューファインダー画像サイズ	1700 バイト

## デコードモード設定

**※通常は使用しませんので設定しないでください**

デコードのモードは 2 種類あります。

通常はデータを解読して出力されますが、以下のバーコードをスキャンすることで一時的にモードが切り替わります。



スナップショットモード

画像を取り込み出力されるモードです。

以下に説明します。

- ① [スナップショットモード]のバーコードをスキャンしますと、緑色の LED が明滅します。
- ② イメージを取り込むための照準レーザーが光ります。
- ③ 次にトリガーボタンを押すことにより画像が出力されます。
- ④ 2 秒間は照明の状態を合やすまで必要になりますので、トリガーボタンを押し続けてください。
- ⑤ 取り込みが成功しますとピープ音がなります。

※[スナップショットモードタイムアウト]の間にトリガーボタンが押されない場合は、通常モードに戻ります。

※[ビデオビューファインダー]を有効にしていますと、トリガーボタンが押されていない間はビデオカメラとして反応します。

## デコードモード設定

### 自動露出 ※通常は使用しませんので設定しないでください

自動で露出を設定します。

無効にした場合は「ゲイン(感度)」と「照射時間」を設定する必要があります。



有効



無効

### 照明

スキャンする際に照明を点灯させます。



有効



無効

### 照準

通常モードの時のみ適用されます。

有効にしますと、スキャンする際に十字の照準パターンが表示されます。



有効



無効

## デコードモード設定

### **画像取り込み時自動露出** ※通常は使用しませんので設定しないでください

[スナップショットモード]時に自動で露出を設定します。

無効にした場合は「ゲイン(感度)」と「照射時間」を設定する必要があります。



有効



無効

### **画像取り込み時照明** ※通常は使用しませんので設定しないでください

[スナップショットモード]時に照明を点灯させます。



有効



無効

### **ゲイン(感度)** ※通常は使用しませんので設定しないでください

自動露出が無効に設定されている場合のみ適用されます。

感度は、原画像データを電子的に明るくさせます。

しかし、感度を上げすぎますと雑音(ノイズ)が入ります。

79 から 127 の値まで設定ができます。デフォルトは 100 です。

※設定方法(例えば 90 を設定する)

- ①下の[ゲイン設定開始]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[9]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



ゲイン設定開始

## デコードモード設定

### **照射時間 ※通常は使用しませんので設定しないでください**

自動露出が無効に設定されている場合のみ適用されます。

照射時間はカメラのシャッター速度と同じように、CCD に光を集める時間を制御します。

一般的には、環境が明るければ明るいほど、照射時間は短くてよいです。

照射時間を長くすぎますと、手ぶれにより画像がぼやける可能性が増えます。

以下のバーコードをスキャンしますと設定されます。

デフォルトは 10 ミリ秒です。



5 ミリ秒



10 ミリ秒



15 ミリ秒



20 ミリ秒



30 ミリ秒

## デコードモード設定

### スナップショットモードタイムアウト ※通常は使用しませんので設定しないでください

スナップモードに切り替えた後に、通常モードに戻るまでの時間を設定します。  
トリガーボタンを押して画像取り込み後、もしくは設定した時間の間に動作がなければ通常モードに戻ります。

0を設定しますと30秒、1を設定しますと60秒と30秒ずつ加算されます。

デフォルトは0です。

※設定方法(例えば90秒を設定する)

- ①下の[タイムアウト設定開始]をスキャン。
- ②P93の「数字バーコード」の[2]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合はP94の[キャンセル]をスキャンします。



タイムアウト設定開始

### スナップモード照準 ※通常は使用しませんので設定しないでください

スナップショットモードの時のみ適用されます。

照準用パターン表示の設定になります。



有効



無効

### 画像切り出し ※通常は使用しませんので設定しないでください

画像切り出し値を指定して画像を切り出すか、指定しないでそのままの画像を取り込むかの設定になります。指定しない場合は、全領域(640×480)のサイズです。  
指定をする場合は次の項目の「画像切り出し値指定」の設定が必要です。



有効

(切り出し値の設定をしてください)



全領域(640×480)

## デコードモード設定

### 画像切り出し値指定 ※通常は使用しませんので設定しないでください

画像切り出し値を指定して画像を切り出します。

元の画像は 640×480 になります。上、下、左、右にて値を指定します。

上下は 0～479 までの値を指定します。(下の値は上の値よりも小さくしないでください)

左右は 0～639 までの値を指定します。(右の値は左の値よりも小さくしないでください)

値が設定されると、上の値～下の値まで、左の値～右の値までの範囲で画像が切り出されます。デフォルトは、上=0、下=479、左=0、右=639

※設定方法(例えば上に「1」を設定する)

①下の[「上」設定開始]をスキャン。

②P93 の「数字バーコード」の[0]、[0]、[1]をスキャンして完了です。

設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



「上」設定開始(0～479)



「下」設定開始(0～479)



「左」設定開始(0～639)



「右」設定開始(0～639)

## デコードモード設定

### 画像縮小 ※通常は使用しませんので設定しないでください

画像の縮小をします。



FULL (640 × 480)



1/2 (320 × 240)



1/3 (212 × 160)



1/4 (160 × 120)

### JPEG 最適化 ※通常は使用しませんので設定しないでください

JPEG の最適化には 2 種類の方法があります。

選択した方法で最適化されます。

[品質]を選択した場合は、次の項目の[JPEG 品質の値]を設定します。

[ファイルサイズ]を選択した場合は、次の項目の[JPEG ファイルサイズの値]を設定します。



品質

(JPEG 品質の値を設定してください)



ファイルサイズ

(JPEG ファイルサイズの値を設定してください)

## デコードモード設定

### **JPEG 最適化の値設定 ※通常は使用しませんので設定しないでください**

品質の値は、5 から 100 まで設定可能です。デフォルトは 65 です。

ファイルサイズの値は 5 から 150 までです。デフォルトは 40(4096 バイト)です。

ファイルサイズの値は 1 上がるごとに 1024 バイト加算されます。

どちらの値も大きくなるほど品質が上がります。

※設定方法(例えば品質の値を 25 を設定する)

- ①下の[品質の値設定開始]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



品質の値設定開始

(5~100)



ファイルサイズの設定開始

(5~150)

### **出力画像のファイル形式 ※通常は使用しませんので設定しないでください**

出力する画像のファイル形式を選択します。

デフォルトは JPEG です。



BMP



JPEG



TIFF

## デコードモード設定

### 1 画素あたりのビット数 (BPP) ※通常は使用しませんので設定しないでください

1 画素あたりのビット数を選択します。

デフォルトは 8BPP です。

出力ファイル形式が JPEG の場合は設定が適用されずに 8BPP となります。



1BPP (2 諧調)



4BPP (16 諧調)



8BPP (256 諧調)

### 署名取り込み ※通常は使用しませんので設定しないでください

署名バーコードは、コンピュータが読み取り可能な形式で文書の署名領域を図で表わす専用コードです。

認識パターンは、任意に様々な署名にインデックスを提供できるように可変です。バーコードパターンにおける領域は署名捕獲領域と考えられています。



有効



無効

## デコードモード設定

### 出力署名のファイル形式 ※通常は使用しませんので設定しないでください

出力する画像のファイル形式を選択してください。

デフォルトは JPEG です。

出力されるデータはファイルディスクリプタを含んでいます。



BMP



JPEG



TIFF

### 署名 1 画素あたりのビット数(BPP) ※通常は使用しませんので設定しないでください

1 画素あたりのビット数を選択します。

デフォルトは 8BPP です。

出力ファイル形式が JPEG の場合は設定が適用されずに 8BPP となります。



1BPP (2 階調)



4BPP (16 階調)



8BPP (256 階調)

## デコードモード設定

### **署名取り込み幅** ※通常は使用しませんので設定しないでください

署名の取り込み幅の設定になります。

デフォルトは 400 になります。

※設定方法 (例えば幅を 10 に設定する)

- ①下の[幅の設定開始]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



幅の設定開始

(1~640)

### **署名取り込み高さ** ※通常は使用しませんので設定しないでください

署名の取り込み高さの設定になります。

デフォルトは 100 になります。

※設定方法 (例えば高さを 10 に設定する)

- ①下の[高さの設定開始]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



高さの設定開始

(1~480)

### **署名 JPEG 品質** ※通常は使用しませんので設定しないでください

品質の値は、5 から 100 まで設定可能です。デフォルトは 65 です。

値が大きくなるほど品質が上がります。

※設定方法 (例えば値を 25 を設定する)

- ①下の[品質の値設定開始]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



品質の値設定開始

(5~100)

## デコードモード設定

### ビデオビューファインダー ※通常は使用しませんので設定しないでください

ビデオビューファインダーの設定になります。



有効



無効

### ビデオフレームサイズ ※通常は使用しませんので設定しないでください

1秒間に転送される100バイトのブロック数を設定します。

小さい値を設定しますと、1秒間に転送されるフレームは多くなりますが、ビデオの品質は低下します。

大きい値を設定しますと、ビデオの品質は向上しますが、転送速度が遅くなります。

設定できる値は8～33(800バイト～3300バイト)です。

デフォルトは22(2200バイト)です。

※設定方法(例えば900バイトに設定する)

- ①下の[フレームサイズ設定開始]をスキャン。
- ②P93の「数字バーコード」の[0]、[9]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合はP94の[キャンセル]をスキャンします。



フレームサイズ設定開始

### ビデオビューファインダー画像サイズ ※通常は使用しませんので設定しないでください

100バイトのブロックの数を設定します。

小さい値を設定しますと、1秒間に転送されるフレームは増えます。大きな値を

設定すると、ビデオの品質が向上します。

設定できる値は8～33(800バイト～3000バイト)です。

デフォルトは17(1700バイト)です。

※設定方法(例えば900バイトに設定する)

- ①下の[ビデオビューファインダー画像サイズ設定開始]をスキャン
- ②P93の「数字バーコード」の[0]、[9]をスキャンして完了です  
設定を中止する場合はP94の[キャンセル]をスキャンします



ビデオビューファインダー画像サイズ設定開始

## シリアル接続設定 (RS-232C)

RS-232C 接続のセットアップの説明を行います。

RS-232C インターフェースは POS デバイス、コンピュータ、または他のデバイスなどの利用可能なシリアルポート (COM ポート) に接続して使用します。

接続するホストが「特定のデバイス」の表に記載されている場合は、シリアル通信個々のパラメータをまとめて設定が可能になります。

接続する「特定のデバイス」の表に記載されていない場合は、シリアル通信のパラメータを個々に設定します。

### シリアル通信パラメータデフォルト値

パラメータ	値
ホストタイプ	標準
ボーレート	9600
パリティ	なし
ストップビット	1 ビット
データビット	8 ビット
データ受信時エラーチェック	チェックあり
ハードウェア ハンドシェイク	なし
ソフトウェア ハンドシェイク	なし
レスポンスタイムアウト	2 秒
RTS 線の状態	Low
<BEL>キャラクタによるビープ音	無効
キャラクタ間遅延	0 ミリ秒
Nixdorf Mode B 専用 ビープ音/LED	通常
不明なキャラクタ	取り除いて送信

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### 特定のデバイス

ここで表示されているホストであれば、個々のパラメータをまとめて設定できます。

ICL、Fujitsu、Wincor-Nixdorf Mode A、Wincor-Nixdorf Mode B、OPOS/JPOS、Olivetti、Omron が対象になります。

ホスト パラメータ	ICL	Fujitsu	Wincor- Nixdorf Mode A	Wincor- Nixdorf Mode B/ OPOS/ JPOS	Olivetti	Omron
コードID 送信	有効	有効	有効	有効	有効	有効
送信データ形式	データ/ サフィックス	データ/ サフィックス	データ/ サフィックス	データ/ サフィックス	プレフィックス/ データ/サフィックス	データ/ サフィックス
サフィックス	CR(1013)	CR(1013)	CR(1013)	CR(1013)	ETX(1002)	CR(1013)
ボーレート	9600	9600	9600	9600	9600	9600
パリティ	偶数	なし	奇数	奇数	偶数	なし
ハードウェア ハンドシェイク	RTS/CTS オプション 3	なし	RTS/CTS オプション 3	RTS/CTS オプション 3	なし	なし
ソフトウェア ハンドシェイク	なし	なし	なし	なし	ACK/NAK	なし
レスポンスタイムアウト	9.9 秒	2 秒	9.9 秒	9.9 秒	9.9 秒	9.9 秒
ストップビット	1 ビット	1 ビット	1 ビット	1 ビット	1 ビット	1 ビット
ASCII フォーマット	8 ビット	8 ビット	8 ビット	8 ビット	7 ビット	8 ビット
<BEL>キャラクタによる ビーブ音	無効	無効	無効	無効	無効	無効
RTS 線の状態	High	Low	Low	Low = 送信 データなし	Low	High
プレフィックス	なし	なし	なし	なし	STX(1003)	なし

※1 Wincor-Nixdorf Mode B では、CTS が Low であればスキャンできません。

※2 適切なホストに接続しないで「Wincor-Nixdorf Mode B」を選択（バーコードをスキャン）しますと、スキャンできないようになります。この症状が起きた場合は、スキャナーの電源を入れなおし 5 秒以内に別のホストを選択（バーコードをスキャン）して設定を変更してください。

## シリアル接続設定 (RS-232C)

ICL、Fujitsu、Wincor-Nixdorf Mode A、Wincor-Nixdorf Mode B、OPOS/JPOS、Olivetti、Omron を選択しますと、以下の表に記載されたコード ID キャラクタが送信されます。

これらのコード ID キャラクタは変更できません。

また、P90 の[コード ID 送信]は無効にしてください。

### コード ID キャラクタ

コード	ICL	Fujitsu	Wincor-Nixdorf Mode A	Wincor-Nixdorf Mode B/OPOS/JPOS	Olivetti	Omron
UPC-A	A	A	A	A	A	A
UPC-E	E	E	C	C	C	E
EAN-8/JAN-8	FF	FF	B	B	B	FF
EAN-13/JAN-13	F	F	A	A	A	F
Code 39	C <桁数>	なし	M	M	M <桁数>	C <桁数>
Codabar (NW-7)	N <桁数>	なし	N	N	N <桁数>	N <桁数>
Code 128	L <桁数>	なし	K	K	K <桁数>	L <桁数>
Interleaved 2 of 5 (ITF)	I <桁数>	なし	I	I	I <桁数>	I <桁数>
Code 93	なし	なし	L	L	L <桁数>	なし
Discrete 2 of 5 (DTF)	H <桁数>	なし	H	H	H <桁数>	H <桁数>
UGC/EAN 128	L <桁数>	なし	P	P	P <桁数>	L <桁数>
MSI	なし	なし	O	O	O <桁数>	なし
Bookland EAN	F	F	A	A	A	F
Trioptic	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Code 11	なし	なし	なし	なし	なし	なし
IATA	H <桁数>	なし	H	H	なし	なし
Code 32	なし	なし	なし	なし	なし	なし

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### 接続するホストの選択

スキャナーを接続するホストを選択してください。

以下にホストがない場合や手動で通信設定を行う場合は[標準]をスキャンしてください。



標準

(通信設定が必要です)



SSI Host



ICL Serial



Wincor-Nixdorf Serial Mode A



Wincor-Nixdorf Serial Mode B



Olivetti ORS4500



Omron



OPOS/JPOS



Fujitsu Serial

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### ボーレート

ボーレートとは、1 秒に送られるデータのビット数です。

スキャナーとホストのボーレートが一致するように設定してください。

一致していない場合は、データがホストに達しないか、データが化けている場合があります。



600



1200



2400



4800



9600



19200



38400



57600



115200

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### パリティ

パリティチェックとはデータの転送エラーを検出するためのものです。

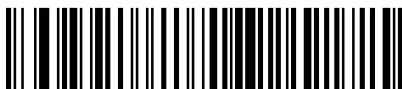
データにおける「1」となるビットの数が偶数、奇数によりパリティビットにて「0」、「1」を付け加えます。

「Odd(奇数)」を設定しますと、データにおける「1」となるビットの数が奇数だった場合は「0」、偶数だった場合は「1」を付け加えられます。

「Even(偶数)」を設定しますと、データにおける「1」となるビットの数が偶数だった場合は「0」、偶数だった場合は「1」を付け加えられます。

ホスト側にて転送データの「1」となるビットの数を確認してエラーチェックを行います。

パリティビットが必要ない場合は、「なし」を選択してください。



Odd(奇数)



Even(偶数)



なし

### ストップビット

ストップビットとは、それぞれの転送されるキャラクタの最後に、終了を告げるために付加される1つのキャラクタです。終わりが示されたことでホスト側が次のキャラクタを受信できる準備をします。

ホスト側のストップビットと同じにしてください。



1 ビット



2 ビット

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### データビット

データビットとは 1 キャラクタを転送する際のビット数になります。

ホスト側のデータビットと同じにしてください。



7ビット



8ビット

### データ受信時エラーチェック

スキャナー側にてホストより受信したデータのエラーチェックをします。(パリティ、データの構成、オーバーラン)

受け入れ可能なパリティは P30 の[パリティ]で設定された値です。



チェックあり



チェックなし

# シリアル接続設定 (RS-232C)

## ハードウェア ハンドシェイク

ハンドシェイクとは、機器間で通信をする時に送受信の停止・再開を制御します。

ハンドシェイク線の RTS(送信要求)、CTS(送信可能)の有無に関係なく RS-232C ポートは動作するように設計されています。

以下に各項目の説明をします。

### ・なし

RTS(送信要求)、CTS(送信可能)は関係なく、利用可能になるのに応じてスキャンデータが送信されます。

### ・RTS/CTS 標準

1. スキャナーは、活動のため CTS 線の状態を読み取ります。  
CTS 線が有効(アクティブ)な状態であれば、[レスポンスタイムアウト]で設定された時間(デフォルトは 2 秒)まで CTS 線が無効になるのを待ちます。  
レスポンスタイムアウトの設定時間までに CTS 線が無効にならなかった場合スキャナーは、送信エラーとしてピープ音を鳴らし、スキャンしたデータは破棄されます。
2. CTS 線が無効な状態であれば、スキャナーが RTS 線を有効にし、レスポンスタイムアウトの設定時間までホストが CTS 線を有効(アクティブ)にするのを待ちます。  
ホストが CTS 線を有効(アクティブ)にした場合はデータを送信します。  
CTS 線が無効のままですと、送信エラーとしてピープ音を鳴らし、スキャンしたデータは破棄されます。
3. データ送信が完了すると、最後のキャラクタを送信した 10 ミリ秒後にスキャナーは RTS 線を無効にします。  
スキャナーは次のデータを転送する時に CTS 線の状態をチェックするので、ホスト側で CTS 線を無効にしなければなりません。

キャラクタ間で CTS 線が 50 ミリ秒以上無効の状態だった場合、データ送信は中止され、送信エラーとしてピープ音が鳴り、スキャンしたデータは破棄されます。

上記の処理が失敗した場合は、スキャナーはエラー表示します。この場合は、再スキャンが必要です。

### ※注意

[ハードウェア ハンドシェイク]と[ソフトウェア ハンドシェイク]が共に有効の場合は、[ハードウェア ハンドシェイク]優先されます。

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### ・RTS/CTS オプション 1

スキャナーは CTS 線の状態を無視し、RTS 線を有効(アクティブ)にして送信します。  
送信が完了しますと、スキャナーは RTS 線を無効にします。

### ・RTS/CTS オプション 2

RTS 線は常に High か、常に Low です(ユーザーによって計画された論理レベル)。  
スキャナーはデータ送信前に、[レスポンスタイム]の設定時間まで CTS 線が有効(アクティブ)になるのを待ちます。

レスポンスタイムアウトの設定時間までに CTS 線が有効(アクティブ)にならなかった場合  
スキャナーは、送信エラーとしてピープ音を鳴らし、スキャンしたデータは破棄されます。

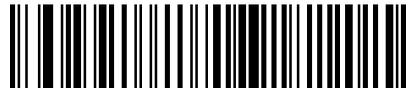
### ・RTS/CTS オプション 3

スキャナーは CTS の状態は関係なく、データ送信前に RTS 線を有効(アクティブ)にします。  
スキャナーは、[レスポンスタイム]の設定時間まで CTS 線が有効(アクティブ)になるのを待ちます。CTS 線が有効(アクティブ)にならなかった場合は、送信エラーとしてピープ音を鳴らし、スキャンしたデータは破棄されます。

スキャナーはデータ送信が完了しますと、RTS 線を無効にします。



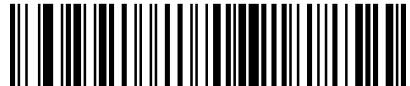
なし



RTS/CTS 標準



RTS/CTS オプション 1



RTS/CTS オプション 2



RTS/CTS オプション 3

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### ソフトウェア ハンドシェイク

ハードウェア ハンドシェイクに加えてソフトウェア ハンドシェイクにてデータ送信制御も可能です。

#### ※注意

[ハードウェア ハンドシェイク]と[ソフトウェア ハンドシェイク]が共に有効の場合は、[ハードウェア ハンドシェイク]優先されます。

#### ・なし

ホストからの応答がなくてもデータはすぐに送信されます。

#### ・ACK/NAK

スキャナーは、データを送信した後に、ホストより ACK か NAK の応答を待ちます。NAK を受信しますと、スキャナーは再び同じデータを送信し、ACK か NAK の応答を待ちます。データを3回送信して NAK の応答しかなかった (ACK の応答がない) 場合は、送信エラーとしてピープ音を鳴らし、スキャンしたデータは破棄されます。

スキャナーは、[レスポンスタイム]の設定時間まで ACK/NAK の応答がない場合も、送信エラーとしてピープ音を鳴らし、スキャンしたデータは破棄されます。

#### ・ENQ

スキャナーは、データを送信前にホストからの ENQ を待ちます。

[レスポンスタイム]の設定時間内に ENQ が受信できない場合は、送信エラーとしてピープ音を鳴らし、スキャンしたデータは破棄されます。

ホストは[レスポンスタイム]の設定時間内に ENQ キャラクタを送信しなければいけません。

#### ・ENQ と ACK/NAK

「ENQ」と「ACK/NAK」を組み合わせたハンドシェイクになります。

#### ・XON/XOFF

スキャナーが XON を受信するまで、スキャナーからの送信をオフにします。

スキャナーはデータ送信前に XOFF を受信しますと、XON を待ちます。

[レスポンスタイム]の設定時間内に XON が受信できない場合は、送信エラーとしてピープ音を鳴らし、スキャンしたデータは破棄されます。

データ送信中に XOFF を受信しますと、データの送信を中断します。スキャナーは中断した後に XON を待ちます。XON を受信しますと残りのデータを送信します。

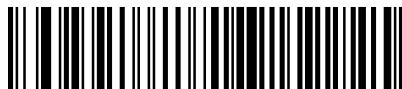


なし

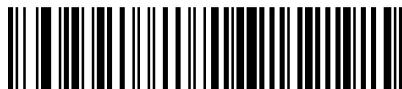
## シリアル接続設定 (RS-232C)



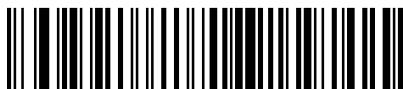
ENQ



ACK/NAK



ENQ と ACK/NAK



XON/XOFF

### レスポンスタイムアウト

スキャナーがホストからの応答があるまでの待ち時間の設定となります。  
ハードウェアハンドシェイク、ソフトウェアハンドシェイクで使用されます。



2 秒



2.5 秒



5 秒



7.5 秒



9.9 秒

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### RTS 線の状態

RTS 線がアイドル時の状態を設定します。



Low



High

### <BEL>キャラクタによるビープ音

スキャナーが<BEL>キャラクタを受信した時のビープ音の設定になります。

※注意

<BEL>キャラクタの処理を正しく行うために、スキャナーに<NULL>キャラクタを<BEL>キャラクタの前に送信してください。



有効



無効

### キャラクタ間の遅延

送信キャラクタ間の遅延時間の設定をします。



0 ミリ秒



25 ミリ秒



75 ミリ秒



99 ミリ秒

## シリアル接続設定 (RS-232C)

### ビープ音・LED オプション (Nixdorf Mode B 専用)

ビープ音、LED 点灯のタイミングを設定します。



標準

(解読直後)



データ送信後



CTS 線が有効後

### 不明なキャラクタ

不明なキャラクタとは、ホストで認識できないキャラクタのことです。

不明なキャラクタを取り除くか、エラー音を鳴らし送信しないかの選択ができます。



取り除いて送信

不明なキャラクタを取り除いてデータを送信します。エラーのビープ音は鳴りません。



エラーのビープ音を鳴らす

データは不明なキャラクタが見つかるまで送信され、不明なキャラクタが存在した時にエラーのビープ音を鳴らします。

## USB 接続設定

USB 接続のセットアップの説明を行います。

USB インターフェースは USB ポートに接続して使用します。

### USB 接続パラメータデフォルト値

パラメータ	値
USB デバイスタイプ	HID キーボードエミュレーション
Symbol Native API(SNAPI)ハンドシェイクステータス	有効
キーボードタイプ	標準 英語
キャラクタ間遅延	遅延なし
Caps Lock 無視	無効
不明なキャラクタ	取り除いて送信
キーパッド	無効
FN1 の置き換え	置き換える
ファンクションキー割り当て	無効
Caps Lock シュミレート	無効
大文字・小文字の変換	無変換

## USB 接続設定

### USB デバイスタイプ

USB デバイスタイプの選択をします。

USB デバイスタイプを変更しますと、スキャナーはリセットされてピープ音が鳴ります。



HID キーボードエミュレーション



COM ポートエミュレーション



Symbol Native API (SNAPI)

イメージあり

※通常は使用しませんので設定しないでください



Symbol Native API (SNAPI)

イメージなし

※通常は使用しませんので設定しないでください

### Symbol Native API (SNAPI) ハンドシェイクステータス

※通常は使用しませんので設定しないでください

USB デバイスタイプにて[Symbol Native API (SNAPI) イメージあり]もしくは[Symbol Native API (SNAPI) イメージなし]を選択した場合のハンドシェイクの有効・無効を選択します。



有効



無効

## USB 接続設定

### キーボードタイプ(USB HID キーボードエミュレーションのみ)

キーボードタイプの設定になります。



標準 英語



ドイツ版 Windows



フランス版 Windows



カナダ(フランス語)版 Windows 2000/XP



カナダ(フランス語)版 Windows 95/98



スペイン版 Windows



イタリア版 Windows



スウェーデン版 Windows



イギリス(英語)版 Windows



日本版 Windows



ブラジル(ポルトガル語)版 Windows

## USB 接続設定

### キャラクタ間遅延

送信キャラクタ間の遅延時間の設定をします。



遅延なし



20 ミリ秒



40 ミリ秒

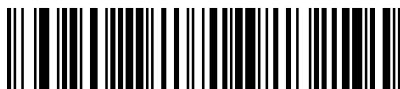
### Caps Lock 無視 (HID キーボードエミュレーション設定時のみ)

有効にしますと、キーボードの Caps Lock の状態に関わらずスキャンデータを保持します。

※「キーボードタイプ」が「日本版 Windows」の場合は、常に有効の状態になります。無効にはできません。



有効



無効

## USB 接続設定

### 不明なキャラクタ(HID キーボードエミュレーション設定時と IBM デバイスのみ)

ホストが認識できないキャラクタが存在した場合のデータ送信設定になります。

「取り除いて送信」を選択した場合は、不明なキャラクタを取り除いてデータを送信します。エラーのビープ音は鳴りません。

「送信しない」を選択した場合は、IBM デバイスでは、不明なキャラクタを含むデータは送信されずエラーのビープ音がなります。

HID キーボードエミュレーションでは、不明なキャラクタが見つかるまで送信され、不明なキャラクタが存在した時にエラーのビープ音を鳴らします。



取り除いて送信



送信しない

### キーパッド

有効にしますと、全てのキャラクタを「ALT」+テンキーパッドとして送信します。

例えば、ASCII の「A」は「ALT」+「065」として送信されます。



有効



無効

### FN1 の置き換え(HID キーボードエミュレーション設定時のみ)

EAN-128 に含まれる「FN1」キャラクタをユーザーで設定されたキャラクタに変換されます。

キャラクタ設定は P93 の「FN1 代替値」で行ってください。



置き換える



置き換えない

## USB 接続設定

### ファンクションキー割り当て

通常は、ASCII 値の 32 以下は制御キーが送信されます。  
有効にしますと制御キーがファンクションキーに変換されます。



有効



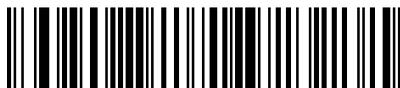
無効

### Caps Lock シュミレート

キーボード CapsLock と同様の動作をスキャナーにて設定できます。  
有効にしますと、スキャナーはバーコードデータの 大文字・小文字を逆転させて送信します。  
大文字・小文字の逆転はキーボード側の CapsLock の状態に関係ありません。ただし、「Caps Lock 無視」設定にて「無効」の場合は、キーボード側の CapsLock で大文字・小文字の状態が逆転されます。



有効



無効

### 大文字・小文字の変換

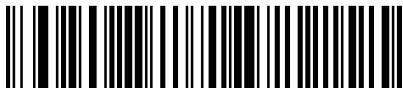
バーコードデータを全て大文字または小文字に変換します。



変換なし



全て大文字に変換



全て小文字に変換

## バーコード設定

ここでは、バーコードの読み取り可否やバーコードデータの変換等の設定を行います。デフォルト値を確認して、必要に応じて設定してください。

### バーコード設定デフォルト値

<b>UPC/EAN/JAN</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
UPC-A 読み取り	有効
UPC-E 読み取り	有効
UPC-E1 読み取り	無効
EAN-8/JAN 8 読み取り	有効
EAN-13/JAN 13 読み取り	有効
Bookland EAN 読み取り	無効
UPC/EAN/JAN アドオン(2桁と5桁)	無効
UPC/EAN/JAN アドオン照合	10
UPC-A チェックデジット送信	有効
UPC-E チェックデジット送信	有効
UPC-E1 チェックデジット送信	有効
UPC-A プレマブル(国コードとNS)	NSのみ送信する
UPC-E プレマブル(国コードとNS)	NSのみ送信する
UPC-E1 プレマブル(国コードとNS)	NSのみ送信する
UPC-E を UPC-A に変換	無効
UPC-E1 を UPC-A に変換	無効
EAN-8/JAN 8 を EAN-13/JAN 13 に変換 (先頭に0が追加)	無効
UCC Coupon Extended Code 読み取り	無効
<b>Code 128</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
Code 128 読み取り	有効
UCC/EAN-128 読み取り	有効
ISBT 128 読み取り	有効

## バーコード設定

<b>Code 39</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
Code 39 読み取り	有効
Trioptic Code 39 読み取り	無効
Code 39 を Code 32 に変換	無効
Code 32 プリフィックス	無効
Code 39 読み取り桁数	最小 2 桁 最大 55 桁
Code 39 チェックデジット検証	無効
Code 39 チェックデジット送信	無効
Code 39 Full ASCII 変換	無効
Code 39 パッファリング	無効
<b>Code 93</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
読み取り	無効
読み取り桁数	最小 4 桁 最大 55 桁
<b>Code 11</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
読み取り	無効
読み取り桁数	最小 4 桁 最大 55 桁
チェックデジット検証	無効
チェックデジット送信	無効
<b>Interleaved 2 of 5 (ITF)</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
読み取り	有効
読み取り桁数	14 桁のみ
チェックデジット検証	無効
チェックデジット送信	無効
EAN-13 に変換	無効
<b>Discrete 2 of 5 (DTF)</b>	
<b>パラメータ</b>	<b>値</b>
読み取り	無効
読み取り桁数	12 桁のみ

## バーコード設定

<b>Codabar(NW-7)</b>	
パラメータ	値
読み取り	無効
読み取り桁数	最小 5 桁 最大 55 桁
CLSI 編集	無効
スタート・ストップキャラクタ送信	無効
<b>MSI</b>	
パラメータ	値
読み取り	無効
読み取り桁数	最小 4 桁 最大 55 桁
チェックデジット検証	1 つのチェックデジット
チェックデジット送信	無効
チェックデジットアルゴリズム(検証方法)	Mod 10/Mod 10
<b>郵便コード</b>	
パラメータ	値
US Postnet 読み取り	有効
US Planet 読み取り	有効
UK Postal 読み取り	有効
UK Postal チェックデジット送信	有効
Japan Postal 読み取り	有効
Australian Postal 読み取り	有効
Dutch Postal 読み取り	有効
US Postal チェックデジット送信	有効
<b>GS1 DataBar(RSS)</b>	
パラメータ	値
GS1 DataBar Omnidirectional(RSS 14) 読み取り	有効
GS1 DataBar Limited(RSS Limited) 読み取り	有効
GS1 DataBar Expanded(RSS Expanded) 読み取り	有効
UPC/EAN に変換	無効

## バーコード設定

コンポジット	
パラメータ	値
CC-C 読み取り	無効
CC-A/B 読み取り	無効
TLC-39 読み取り	無効
UPC コンポジットモード	いつでもリンク
ビーブ音のモード	各コードタイプをスキャン後ビーブ音
UCC/EAN コンポジットコードに対する UCC/EAN Code 128 エミュレーション	無効
2次元コード	
パラメータ	値
PDF 417 読み取り	有効
Micro PDF 417 読み取り	無効
Micro PDF 417 を Code 128 にエミュレーション	無効
Data Matrix 読み取り	有効
Maxicode 読み取り	有効
QR コード 読み取り	有効
セキュリティレベル	
パラメータ	値
照合レベル	1
セキュリティレベル	1
キャラクタ間ギャップ サイズ	標準
Macro PDF	
パラメータ	値
Macro PDF 送信モード	パススルー
コントロールヘッダー送信	無効
エスケープ文字	無効

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### UPC-A 読み取り



有効



無効

### UPC-E 読み取り



有効



無効

### UPC-E1 読み取り

UPC-E1 は UCC (Uniform Code Council) で承認された規格ではありません。



有効



無効

### EAN-8/JAN 8 読み取り



有効



無効

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### EAN-13/JAN 13 読み取り



有効



無効

### Bookland EAN 読み取り



有効



無効

### UPC/EAN/JAN アドオン(2桁と5桁)

アドオンが付加されている UPC/EAN/JAN の読み取り設定になります。  
新雑誌コードを読み取る場合には設定が必要です。

#### ・無効

アドオンが付加されている UPC/EAN/JAN は読み取りません。

#### ・アドオンのみ

アドオンが付加されている UPC/EAN/JAN のみスキャン可能です。

#### ・自動識別

アドオンが付加されているか、付加されていないか自動で識別してスキャンします。

「UPC/EAN/JAN アドオン照合」の設定が有効になってきます。

「UPC/EAN/JAN アドオン照合」の設定値は「5」以上を推奨します。

※アドオン付きをスキャンする際に、照準が JAN 13 のみに合っていますとアドオン部分は読み込まれませんので、アドオン部分までしっかり照準を合わせてください。

#### ・先頭 378/379

バーコードの先頭が「378」か「379」で始まる EAN-13/JAN 13 のみ検索して読み取ります。

#### ・先頭 978

バーコードの先頭が「978」で始まる EAN-13/JAN 13 のみ検索して読み取ります。

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### ・先頭 378/379/978

バーコードの先頭が「378」か「379」か「978」で始まる EAN-13/JAN 13 のみ検索して読み取ります。



無効



アドオンのみ



自動識別



先頭 378/379



先頭 978



先頭 378/379/978

### UPC/EAN/JAN アドオン照合

「UPC/EAN/JAN アドオン」で「自動識別」を選択した場合の設定になります。

データを送信する前に照合チェックの回数(2~30)の設定を行います。デフォルトは 10 になります。

※設定方法(例えば照合回数を 10 に設定する)

- ①下の[照合回数(2~30)の設定開始]をスキャン。
  - ②P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。
- 設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



照合回数(2~30)の設定開始  
(2~30)

## バーコード設定 UPG/EAN/JAN

### UPC-A チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信すかしないかの設定になります。



有効



無効

### UPC-E チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信すかしないかの設定になります。



有効



無効

### UPC-E1 チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信すかしないかの設定になります。



有効



無効

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### UPC-A プレマブル(国コードとNS)

UPC-A のバーコードには国コードがありません。また、先頭 1 桁はナンバーシステムキャラクター (NS) と呼ばれ、NS の値により 2 桁目以降の情報の内容が異なります。

データを送信時に先頭に国コード「0(アメリカ)」の付加と、NS の送信設定をします。



国コードを付加しない、NS を送信しない



NS のみ送信する



国コードを付加して、NS も送信する

### UPC-E プレマブル(国コードとNS)

UPC-E のバーコードには国コードがありません。また、先頭 1 桁はナンバーシステムキャラクター (NS) と呼ばれ、NS の値により 2 桁目以降の情報の内容が異なります。

データを送信時に先頭に国コード「0(アメリカ)」の付加と、NS の送信設定をします。



国コードを付加しない、NS を送信しない



NS のみ送信する



国コードを付加して、NS も送信する

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### UPC-E1 プレマブル(国コードとNS)

UPC-E1 のバーコードには国コードがありません。また、先頭 1 桁はナンバーシステムキャラクタ(NS)と呼ばれ、NS の値により 2 桁目以降の情報の内容が異なります。

データを送信時に先頭に国コード「0(アメリカ)」の付加と、NS の送信設定をします。



国コードを付加しない、NS を送信しない



NS のみ送信する



国コードを付加して、NS も送信する

### UPC-E を UPC-A に変換

UPC-E を UPC-A に変換します。

有効にした場合は、変換後に UPC-A の設定(プレマブル、チェックデジット等)が反映されます。



有効



無効

### UPC-E1 を UPC-A に変換

UPC-E1 を UPC-A に変換します。

有効にした場合は、変換後に UPC-A の設定(プレマブル、チェックデジット等)が反映されます。



有効



無効

## バーコード設定 UPC/EAN/JAN

### EAN-8/JAN 8 を EAN-13/JAN 13 に変換(先頭に 0 が追加)

EAN-8/JAN 8 を先頭に「0」を 5 桁付加して EAN-13/JAN 13 に変換します。



有効



無効

### UCC Coupon Extended Code 読み取り

先頭 1 桁が「5」から始まる UPC-A、先頭 2 桁が「99」から始まる EAN-13、UPCA/EAN-128 クーポンコードを読み取り可能にします。

UPC-A、EAN-13、EAN-128 の読み取りを「有効」に設定する必要があります。



有効



無効

## バーコード設定 Code 128

### Code 128 読み取り



有効



無効

### UCC/EAN-128 読み取り



有効



無効

### ISBT 128 読み取り

ISBT 128 は、血液銀行産業で使用される Code 128 の異形です。  
有効にした場合は、端末側で ISBT データの連結を実行しなければいけません。



有効



無効

## バーコード設定 Code 39

### Code 39 読み取り



有効



無効

### Trioptic Code 39 読み取り

Trioptic Code 39 は、コンピュータテープカートリッジのマークに使用される Code 39 の異形です。

※注意

「Trioptic Code 39 読み取り」の有効と「Code 39 Full ASCII 変換」の有効は同時にできません。



有効



無効

### Code 39 を Code 32 に変換

Code 32 は、イタリアの製薬工業によって使用される Code39 の異形です。

※注意

「Code 39 読み取り」を有効にする必要があります。



有効



無効

## バーコード設定 Code 39

### Code 32 プリフィックス

データの前に「A」を付加します。

※注意

「Code 39 を Code 32 に変換」を有効にする必要があります。



有効



無効

### Code 39 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 2 桁、最大 55 桁です。

※「Code 39 Full ASCII 変換」を有効にする場合は、「設定桁数なし」の設定をすることをお勧めします。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の Code 39 しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の Code 39 しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Code 39

### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の Code 39 しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### Code 39 チェックデジット 検証

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

モジュラス 43 にてチェックデジットの検証を行います。

[有効]にした場合は、チェックデジットが含まれていない Code 39 の読み取りはできません。



有効



無効

## バーコード設定 Code 39

### Code 39 チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

チェックデジットを送信すかしないかの設定になります。

「Code 39 チェックデジット 検証」が有効でなければ機能しません。



有効



無効

### Code 39 Full ASCII 変換

Code 39 Full ASCII は、完全な ASCII コード(128 文字)をエンコードできる Code 39 の異形です。「ASCII キャラクタ設定用コード表」を参考にしてください。

※注意

「Trioptic Code 39 読み取り」の有効と「Code 39 Full ASCII 変換」の有効は同時にできません。



有効



無効

### Code 39 バッファリング

スキャナーは、複数の Code 39 データを蓄積できます。

有効を選択しますと、先頭にスペースがある Code 39 データを蓄積します。先頭のスペースは削除されます。

有効にする場合は、Code 39 だけ読み取るような構成(設定)にすることをお勧めします。

無効を選択しますと、蓄積せずに送信されます。

## バーコード設定 Code 39



有効



無効

データが蓄積されている場合は、「無効」に設定することができません。バッファは 200 バイトまで情報を保持できます。

バッファにデータがある時に「無効」にする場合は、「バッファ送信」か「バッファクリア」をスキャンしてください。

### Code 39 バッファクリア

蓄積されているデータをクリアする場合はスキャンしてください。

※注意

このバーコードは「-(マイナス)」キャラクタの 1 文字のみですので、「Code 39 読み取り桁数」の最小値は「1」でなければいけません。



Code 39 バッファクリア

### Code 39 バッファ送信

蓄積されているデータの送信方法は 2 種類あります。

- ・以下の「Code 39 バッファ送信」をスキャンします。  
蓄積されているデータを送信してバッファがクリアされます。

※注意:

このバーコードは「+(プラス)」キャラクタの 1 文字のみですので、「Code 39 読み取り桁数」の最小値は「1」でなければいけません。

- ・先頭がスペース以外の Code 39 バーコードをスキャンします。  
スキャンされたデータが追加され、蓄積されているデータを送信してバッファがクリアされま  
す。



Code 39 バッファ送信

## バーコード設定 Code 93

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の Code 93 しか読み取りを行いません。

※設定方法 (例えば 10 桁に設定する)

- ① 下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の Code 93 しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法 (例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ① 下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の Code 93 しか読み取りを行いません。

※設定方法 (例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ① 下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Code 93

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

# バーコード設定 Code 11

## 読み取り



有効



無効

## 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の Code 11 しか読み取りを行いません。

※設定方法 (例えば 10 桁に設定する)

- ① 下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の Code 11 しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法 (例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ① 下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の Code 11 しか読み取りを行いません。

※設定方法 (例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ① 下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Code 11

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### チェックデジット 検証

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

1つのチェックデジットか2つのチェックデジットにて検証を行います。

チェックデジットが無い場合は[無効]を選択してください。



無効



1つのチェックデジット



2つのチェックデジット

## バーコード設定 Code 11

### チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

チェックデジットを送信するかしないかの設定になります。

「チェックデジット 検証」が無効以外でなければ機能しません。



有効



無効

## バーコード設定 Interleaved 2 of 5(ITF)

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定桁数のみ読み取り」で 14 桁です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の ITF しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の ITF しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の ITF しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Interleaved 2 of 5(ITF)

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り  
(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)  
(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り  
(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### チェックデジット 検証

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

Uniform Symbology Specification(USS) アルゴリズムか Optical Product Code Council(OPCC) アルゴリズムかを選択します。

どちらかを選択した場合は、チェックデジットが含まれていないITFの読み取りはできません。

チェックデジットが無い場合は[無効]を選択してください。



無効



USS



OPCC

## バーコード設定 Interleaved 2 of 5(ITF)

### チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信するかしないかの設定になります。



有効



無効

### EAN-13に変換

有効にしますと、14桁のITFをEAN-13に変換して送信します。  
ITFは先頭が「0」でEAN-13のチェックデジットを含まなければなりません。



有効



無効

## バーコード設定 Discrete 2 of 5 (DTF)

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定桁数のみ読み取り」で 12 桁です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の DTF しか読み取りを行いません。

※設定方法 (例えば 10 桁に設定する)

- ① 下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の DTF しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法 (例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ① 下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の DTF しか読み取りを行いません。

※設定方法 (例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ① 下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ② P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Discrete 2 of 5(DTF)

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

## バーコード設定 Codabar(NW-7)

### 読み取り



有効



無効

### 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 5 桁、最大 55 桁です。

#### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の Codabar しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の Codabar しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

#### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の Codabar しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 Codabar(NW-7)

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

### CLSI 編集

CLSI 編集とは、14 桁の Codabar のスタート・ストップキャラクタを削除し、1 桁目、5 桁目、10 桁目の後にスペースを挿入します。

ホスト側がこの形式のデータが必要な場合は有効にしてください。

注意 Codabar の長さは、スタート・ストップキャラクタを含まず 14 桁です。



有効



無効

## バーコード設定 Codabar(NW-7)

### スタート・ストップキャラクタ送信

スタート・ストップキャラクタを送信するかしないかの設定になります。



有効



無効

# バーコード設定 MSI

## 読み取り



有効



無効

## 読み取り桁数

読み取り可能な桁数の設定を行います。

桁数の設定方法は 4 種類あります。

デフォルトは、「設定範囲内桁数読み取り」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

### ・設定桁数のみ読み取り

設定した桁数の MSI しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば 10 桁に設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

### ・設定桁数のみ読み取り(2 種類)

設定した桁数の MSI しか読み取りを行いません。

2 種類の桁数を設定できます。

※設定方法(例えば 8 桁と 15 桁を設定する)

- ①下の[設定桁数のみ読み取り(2 種類)]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[8]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

### ・設定範囲内桁数のみ読み取り

設定した最小・最大桁数の範囲内の MSI しか読み取りを行いません。

※設定方法(例えば最小 2 桁、最大 15 桁を設定する)

- ①下の[設定範囲内桁数のみ読み取り]をスキャン。
- ②P93 の「数字バーコード」の[0]、[2]、[1]、[5]をスキャンして完了です。  
設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。  
設定する値が 1 桁の場合は、[0]、[値]をスキャンします。

## バーコード設定 MSI

### ・設定桁数なし

桁数に関係なく読み取りを行います。

[設定桁数なし]をスキャンしてください。



設定桁数のみ読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数のみ読み取り(2種類)

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定範囲内桁数読み取り

(スキャン後に数字バーコードをスキャンしてください)



設定桁数なし

## チェックデジット 検証

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

MSIは必ず1つのチェックデジットが検証されますが、2つ目は任意です。

1つのチェックデジットか2つのチェックデジットにて検証を行います。

「2つのチェックデジット」を選択した場合は、2番目のチェックデジットの検証方法を設定する必要があります。「チェックデジットアルゴリズム(検証方法)」にて設定を行ってください。



1つのチェックデジット



2つのチェックデジット

## バーコード設定 MSI

### チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信するかしないかの設定になります。



有効



無効

### チェックデジットアルゴリズム(検証方法)

「チェックデジット 検証」で「2つのチェックデジット」を選択した場合に必要な設定になります。  
2つ目のチェックデジットアルゴリズムを選択してください。



MOD 10/MOD 11



MOD 10/MOD 10

## バーコード設定 郵便コード

### US Postnet 読み取り



有効



無効

### US Planet 読み取り



有効



無効

### UK Postal 読み取り



有効



無効

### UK Postal チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

チェックデジットの送信設定になります。



送信

## バーコード設定 郵便コード

### Japan Postal 読み取り



有効



無効

### Australian Postal 読み取り



有効



無効

### Dutch Postal 読み取り



有効



無効

### US Postal チェックデジット 送信

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。  
チェックデジットを送信するかしないかの設定になります。



有効



無効

## バーコード設定 GS1 DataBar(RSS)

### GS1 DataBar Omnidirectional(RSS 14) 読み取り



有効



無効

### GS1 DataBar Limited(RSS Limited) 読み取り



有効



無効

### GS1 DataBar Expanded(RSS Expanded) 読み取り



有効



無効

### UPC/EANに変換

GS1 DataBar OmnidirectionalとGS1 DataBar Limitedに適用されます。

バーコードデータの先頭が「0」の場合は、先頭より(AI含む)「010」を削除してEAN-13に変換して送信します。

バーコードデータの先頭より「0」が2つ以上6つ未満の場合は、先頭より(AI含む)「0100」を削除してUPC-Aに変換して送信します。

「UPC-A プレマブル(国コードとNS)」のパラメータは適用されて送信します。



有効



無効

## バーコード設定 コンポジット

### CC-C 読み取り



有効



無効

### CC-A/B 読み取り



有効



無効

### TLC-39 読み取り



有効



無効

## バーコード設定 コンボジット

### UPC コンボジットモード

コンボジットコードを UPC バーコードであるかのように送信されます。  
3 種類のオプションがあります。

・リンクなし

コンボジットコードが検出されたかに関わらず、UPC を送信します。

・いつでもリンク

コンボジットコードが検出されなければ UPC は送信されません。

・自動

コンボジットコードを自動で識別して UPC を送信します。



リンクなし



いつでもリンク



自動

### ビープ音のモード

コンボジットコードがスキャンされた際のビープ音の設定になります。



スキャン完了時に 1 回ビープ音



合成されているコードそれぞれでスキャン完了時にビープ音



スキャン完了時に 2 回ビープ音

### UCC/EAN コンボジットコードに対する UCC/EAN Code 128 エミュレーション



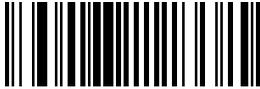
有効



無効

## バーコード設定 2次元コード

### PDF417 読み取り



有効



無効

### Micro PDF417 読み取り



有効



無効

### Micro PDF 417 を Code 128 にエミュレーション

Micro PDF 417 を Code 128 として送信します。設定を「有効」にした場合は、「コード ID 送信」パラメータを「AIM コード ID」に設定しなければいけません。  
設定を「有効」にしますと、以下のプリフィックスが送信されます。

- ・]C1  
先頭のデータが「903～907」、「912」、「914」、「915」の場合
- ・]C2  
先頭のデータが「908」、「909」の場合
- ・]C0  
先頭のデータが「910」、「911」の場合

設定を「無効」にしますと、以下のプリフィックスが送信されます。

- ・]L3  
先頭のデータが「903～907」、「912」、「914」、「915」の場合
- ・]L4  
先頭のデータが「908」、「909」の場合
- ・]L5  
先頭のデータが「910」、「911」の場合



有効



無効

## バーコード設定 2次元コード

### Data Mtrix 読み取り



有効



無効

### MaxiCode 読み取り



有効



無効

### QRコード 読み取り



有効



無効

## バーコード設定 セキュリティレベル

### 照合レベル

照合チェックのレベルを設定します。

バーコードの品質等によって適切なレベルを設定してください。

高いレベルを設定することによって誤読が減少します。

UPC/EAN/JAN、Code 128 ファミリー、Code 93 は、「セキュリティレベル」で設定します。

以下にレベル別の説明をします。

#### ・レベル 1

以下のコードタイプは 2 回読み込み照合チェックを行います。

コードタイプ	桁数
Codabar (NW-7)	8 桁以下
MSI	4 桁以下
Interleaved 2 of 5 (ITF)	8 桁以下
Discrete 2 of 5 (DTF)	8 桁以下

#### ・レベル 2

以下のコードタイプは 2 回読み込み照合チェックを行います。

コードタイプ	桁数
全て	全て

#### ・レベル 3

以下のコードタイプは 3 回読み込み照合チェックを行います。

それ以外のコードタイプは 2 回読み込みしろうごうチェックを行います。

コードタイプ	桁数
Codabar (NW-7)	8 桁以下
MSI	4 桁以下
Interleaved 2 of 5 (ITF)	8 桁以下
Discrete 2 of 5 (DTF)	8 桁以下

## バーコード設定 セキュリティレベル

### ・レベル 4

以下のコードタイプは 3 回読み込み照合チェックを行います。

コードタイプ	桁数
全て	全て



レベル 1



レベル 2



レベル 3



レベル 4

## セキュリティレベル

UPC/EAN/JAN、Code 128 ファミリー、Code 93 のセキュリティレベルを設定します。

バーコードの品質等によって適切なレベルを設定してください。

高いレベルを設定することによって誤読が減少します。

### ・レベル 0

スキャナーは、規格を満たしているバーコードをスキャンするのに十分な動作をします。

### ・レベル 1

2 回読み込み照合チェックを行います。

「レベル 0」で誤読が現れる場合は設定してください。

### ・レベル 2

3 回読み込み照合チェックを行います。

「レベル 2」で誤読が現れる場合は設定してください。

## バーコード設定 セキュリティレベル

### ・レベル 3

4 回読み込み照合チェックを行います。

「レベル 3」で誤読が現れる場合は設定してください。

このレベルを設定する必要がある場合は、バーコードの品質を向上させることをお勧めします。



レベル 0



レベル 1



レベル 2



レベル 3

### キャラクタ間ギャップ サイズ

Code 39 と Codabar (NW-7) には、通常それぞれのキャラクタの間に「キャラクタ間ギャップ」というかなり小さなスペースがあります。

印刷技術によっては、キャラクタ間ギャップが規格の最大サイズを超えることがあり、スキャナーがスキャンできない問題が発生することがあります。

この問題が起こる場合は、「規格外のキャラクタ間ギャップ」を設定してください。



通常



規格外のキャラクタ間ギャップ

## バーコード設定 Macro PDF

Macro PDF は、1 個のファイルに複数の PDF シンボルを連結している特徴があります。  
スキャナーは、最大 50 個までスキャンされた Macro PDF シンボルを 64KB 以上で保存できます。

警告：

印刷時は、各配列にユニークな識別子があるので、それぞれの Macro PDF 配列は別々にしてください。

同じデータをコード化していても、複数の Macro PDF 配列を混ぜないでください。

Macro PDF 配列のスキャン時は、途切れることなく全ての Macro PDF 配列をスキャンしてください。

### Macro PDF 送信モード

設定は 3 種類あります。

#### ・全てのシンボルをバッファリング/完全である時送信

全体の配列がスキャンされ、すべて解読されると送信します。

限界の 50 のシンボルを超えると、全体がスキャンされていけませんので送信はされませんので、バッファをクリアするために「バッファデータ送信」をスキャンしてください。

#### ・特定の指示し

配列に関わらず解読されたそれぞれの Macro PDF シンボルを送信します。

このモードを選択した場合は、「コントロールヘッダー送信」を「有効」にしてください。

#### ・パススルー

処理を実行せず、データを解読、送信します。



全てのシンボルをバッファリング/完全である時送信



特定の指示なし



パススルー

## バーコード設定 Macro PDF

### コントロールヘッダー送信

セグメントインデックスやファイル ID 等のコントロールヘッダーの送信有無の設定になります。

「Macro PDF 送信モード」で「特定の指示なし」にした場合は有効にしてください。



有効



無効

### エスケープ文字

エスケープキャラクタとしてバックスラッシュキャラクタを有効にします。(GLI プロトコル)



有効



無効

### バッファデータ送信

以下のバーコードをスキャンすると、蓄積されたデータを送信してクリアします。



バッファデータ送信

### バッファリング中止

以下のバーコードをスキャンすると、蓄積されたデータをクリアしてバッファリングを中止します。



バッファリング中止

## その他のオプション

### その他のオプションデフォルト値

パラメータ	値
コードID 送信	無効
SSI プリフィックス値	<CR>
SSI サフィックス 1 サフィックス 2 値	<CR> <CR>
プリフィックス値	<CR><LF>
サフィックス 1 サフィックス 2 値	<CR><LF><CR><LF>
送信データ フォーマット	通常(そのままのデータ)
FN1 代替値	セット
ノーリード メッセージ 送信	無効

## その他のオプション

### コード ID 送信

バーコードのタイプを識別して先頭にコード ID を付加して送信します。

コード ID はプリフィックスとバーコードデータの間に挿入されます。

付加されるコード ID キャラクタは、P95・P96 を参照してください。



シンボルコード ID キャラクタ



AIM コード ID キャラクタ



無効

### プリフィックス・サフィックス 値

1 つのプリフィックスと 2 つのサフィックスをデータに追加することができます。以下のバーコードをスキャンしてから追加するキャラクタの 4 桁の値をスキャンします。

※注意

プリフィックス、サフィックス 1、サフィックス 2 は、複数ののキャラクタは設定できません。

「送信データ フォーマット」の設定が必要です。

※設定方法(例えばプリフィックスに「A」を追加する)

① 下の[プリフィックス]をスキャン。

② P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]、[6]、[5]をスキャンして完了です。

設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします。



プリフィックス



サフィックス 1



サフィックス 2

## その他のオプション

### 送信データ フォーマット

送信データのフォーマットを設定します。



通常(そのままのデータ)



<データ><サフィックス 1>



<データ><サフィックス 2>



<データ><サフィックス 1><サフィックス 2>



<プリフィックス><データ>



<プリフィックス><データ><サフィックス 1>



<プリフィックス><データ><サフィックス 2>



<プリフィックス><データ><サフィックス 1>  
<サフィックス 2>

## その他のオプション

### FN1 代替値(HID キーボードエミュレーション設定時のみ)

EAN-128 に含まれる「FN1」キャラクタを任意で設定したキャラクタに置き換えて送信できます。

P42 の「FN1 の置き換え」にて「置き換える」を設定してください。

デフォルトのキャラクタは「Enter(7013)」になります。

※設定方法(例えば「A」に置き換える)

①下の[FN1 代替値変更]をスキャン

②P93 の「数字バーコード」の[1]、[0]、[6]、[5]をスキャンして完了です

設定を中止する場合は P94 の[キャンセル]をスキャンします



FN1 代替値変更

### ノード メッセージ 送信

バーコードを解読できなかった場合に「NR」キャラクタを送信します。



有効



無効

## 数字バーコード

各パラメータ設定を行う際に、数値を設定する場合に以下のバーコードをスキャンしてください。



0



2



4



6



8



1



3



5



7



9

## キャンセルバーコード

「数字バーコード」で間違えた場合に以下のバーコードをスキャンしますと設定がキャンセルできます。



キャンセル

## シンボルコード ID 一覧

コード ID	コード種別
A	UPC-A、UPC-E、UPC-E1、EAN-8、EAN-13
B	Code 39、Code 32
C	Codabar(NW-7)
D	Code 128
E	Code 93
F	Interleaved 2 of 5(ITF)
G	Discrete 2 of 5(DTF)
H	Code 11
J	MSI
K	UCC/EAN-128
L	Bookland EAN
M	Trioptic Code 39
N	Coupon Code
R	GS1 DataBar(RSS) ファミリー
T	UCC Composite、TLC-39
X	PDF 417、Macro PDF 417、Micro PDF 417
P00	Data Matrix
P01	QR コード
P02	Maxicode
P03	US Postnet
P04	US Planet
P05	Japan Postal
P06	UK Postal
P08	Dutch Postal
P09	Australian Postal
P09	UK Postal

## AIM コード ID 一覧

AIM コード ID は「**]**」+「**c**」+「**m**」で表現されます。

**]** = フラグキャラクタ

**c** = コードキャラクタ

**m** = 修飾語キャラクタ

### コードキャラクタ表

コードキャラクタ	コード種別
A	Code 39、Code 39 Full ASCII、Code 32
C	Code 128、Coupon(Code 128 一部)
D	Data Matrix
E	UPC/EAN、Coupon(UPC 一部)
E	GS1 DataBar(RSS) ファミリー
F	Codabar(NW-7)
G	Code 93
H	Code 11
I	Interleaved 2 of 5(ITF)
L	PDF 417、Macro PDF 417、Micro PDF 417
M	MSI
Q	QR コード
S	Discrete 2 of 5(DTF)
U	Maxicode
X	Bookland EAN、Trioptic Code 39、 US Postnet、US Planet、UK Postal、 Japan Postal、Australian Postal、Dutch Postal

## AIM コード ID 一覧

### 修飾キャラクタ表

コード種別	オプション値	説明
Code 39	0	チェックデジット検証なし、または Full ASCII 変換なし
	1	チェックデジット検証を行った
	3	チェックデジット検証をしてチェックデジットを削除した
	4	Full ASCII 変換を実行した
	5	Full ASCII 変換を実行してチェックデジット検証を行った
	7	Full ASCII 変換を実行してチェックデジット検証をしてチェックデジットを削除した
	例:	チェックキャラクタ『W』がある Code 39 Full ASCII バーコード『AIMIDW』の場合、『A7AIMID(7=3+4)』と送信される。
Trioptic Code 39	0	指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。
	例:	Trioptic Code 39 バーコード『412356』の場合、『X0412356』と送信されます。
Code 128	0	最初のシンボル位置に FN1 がない標準データ
	1	最初のシンボル位置に FN1 があるデータ
	2	2 番目のシンボル位置に FN1 があるデータ
	例:	最初の位置に FN1 がある Code (EAN) 128 バーコード『AIMID』の場合、『C1AIMID』と送信されます。
Interleaved 2 of 5 (ITF)	0	チェックデジット検証なし
	1	チェックデジット検証を行った
	3	チェックデジット検証をしてチェックデジットを削除した
	例:	チェックデジットがない ITF バーコード『4123』の場合、『I04123』と送信されます。
Codabar (NW-7)	0	チェックデジット検証なし
	1	チェックデジット検証を行った
	3	送信前にチェックデジット削除
	例:	チェックデジットがない Codabar バーコード『4123』の場合、『F04123』と送信されます。

## AIM コード ID 一覧

### 修飾キャラクタ表

コード種別	オプション値	説明
Code 93	0	指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。
	例:	Code 93 バーコード『012345678905』の場合、 『G0012345678905』と送信されます。
MSI	0	チェックデジット送信
	1	チェックデジットが送信されなかった
	例:	1 つのチェックデジットがある MSI バーコード『4123』の場合、 『M14123』と送信されます。
Discrete 2 of 5 (DTF)	0	指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。
	例:	DTF バーコード『4123』の場合、『S04123』と送信されます。
UPC/EAN	0	全ての EAN 国コードフォーマットの標準データで、 UPC-A と UPC-E の場合は 13 桁 (アドオンは含まない)
	1	アドオン 2 桁のみ
	2	アドオン 5 桁のみ
	4	EAN-8 データ
	例:	UPC-A バーコード『012345678905』の場合、 『E00012345678905』と送信される。
Bookland EAN	0	指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。
	例:	Bookland EAN バーコード『123456789X』の場合、 『X0123456789X』と送信されます。
Code 11	0	1 つのチェックデジット
	1	2 つのチェックデジット
	3	チェックデジット検証をしてチェックデジットは送信しない
GS1 DataBar (RSS) ファミリー		指定できるオプションがないので、常に『0』が送信されます。  GS1 DataBar Omnidirectional (RSS 14) と GS1 DataBar Limited (RSS Limited) はアプリケーション識別子『01』も送信します。  注意: UCC/EAN-128 エミュレーション・モードでは、Code 128 の規則で送信されます。(すなわち『C1』)
	例:	GS1 DataBar Omnidirectional (RSS 14) バーコード 『100123456788902』の場合、『e001100123456788902』と送信されます。

## AIM コード ID 一覧

### 修飾キャラクタ表

コード種別	オプション値	説明
EAN/UCC コンポジット (GS1 DataBar、 UCC/EAN-128、 UPC コンポジット)		ネイティブモード送信。 コンポジットの UPC 部分は、UPC の規則で送信されます。
	0	標準データ。
	1	分離符キャラクタに続くデータを含むデータパケット。
	2	エスケープキャラクタに続いてデータを含むデータパケット。 ECI プロトコルはサポートしません。
	3	エスケープキャラクタに続いてデータを含むデータパケット。 ECI プロトコルはサポートします。
		UCC/EAN-128 エミュレーション。 コンポジットの UPC 部分は、UPC の規則で送信されます。
	1	UCC/EAN-128 のデータパケット。(すなわち、データの先頭に『JCI』が付加されています)
PDF 417、Micro PDF 417	0	リーダーは、1994 年の PDF 417 の仕様で定められているプロトコルに一致する。 注意： このオプションが送信された時、受信側は ECI (拡張チャネル解釈) が呼び出されたかどうか、または送信中にデータバイト 92DEC が倍になったか確定できません。
	1	リーダーは、ECI (拡張チャネル解釈) プロトコルに従うために設定されました。全てのデータキャラクタ 92DEC が倍にされます。
	2	リーダーは、基本的なチャネル処理 (エスケープキャラクタがない送信プロトコル) のために設定されました。データキャラクタ 92DEC は倍にされません。 注意： デコードがこのモードに設定された時、バッファがない Macro シンボルと ECI エスケープ文字列を伝えることをデコードに要求しているシンボルは、送られることができません。
	3	バーコードは UCC/EAN-128 シンボルを含んでいます。最初のコードが『903』～『907』、『912』、『914』、『915』です。
	4	バーコードは UCC/EAN-128 シンボルを含んでいます。最初のコードが『908』～『909』です。
	5	バーコードは UCC/EAN-128 シンボルを含んでいます。最初のコードが『910』～『911』です。
	例:	PDF417 バーコードで有効な転送プロトコルがない場合『ABCD』は、『L2ABCD』と送信されます。

## AIM コード ID 一覧

### 修飾キャラクタ表

コード種別	オプション値	説明
Data Matrix	0	ECC 000～410、サポートされていません。
	1	ECC 200。
	2	最初か 5 番目の位置に FN1 がある ECC 200。
	3	2 番目か 6 番目の位置に FN1 がある ECC 200。
	4	ECI プロトコルが実装された ECC 200。
	5	最初か 5 番目の位置に FN1 があり、ECI プロトコルが実装された ECC 200。
	6	2 番目か 6 番目の位置に FN1 があり、ECI プロトコルが実装された ECC 200。
MaxiCode	0	モード 4 か 5 のシンボル
	1	モード 2 か 3 のシンボル
	2	モード 4 か 5 で ECI プロトコルが実装されたシンボル。
	3	モード 2 か 3 で ECI プロトコルが実装されたシンボル
QR コード	0	モデル 1 のシンボル
	1	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていないシンボル
	2	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されているシンボル
	3	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていない、最初の位置に FN1 があるシンボル
	4	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていて最初の位置に FN1 があるシンボル
	5	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていない、2 番目の位置に FN1 があるシンボル
	6	モデル 2 で ECI プロトコルが実装されていて 2 番目の位置に FN1 があるシンボル

## ASCII キャラクタ設定用コード表

プレフィックス、サフィックス等で付加する文字 (ASCII キャラクタ) の値になります。  
 設定する際はコード表の「設定値」を確認して「数字バーコード」にてバーコードをスキャンしてください。

また、Code 39 を「Code 39 Full ASCII 変換」を有効にしている場合のバーコードのキャラクタは「Full ASCII Code 39 エンコードキャラクタ」で「キーストローク」のコードに変換されます。  
 「キーストローク」のカッコ内は「ファンクションキー割り当て」を無効にした場合の ASCII コードになります。

設定値	Full ASCII Code 39 エンコードキャラクタ	キーストローク
1000	%U	CTRL 2 (NUL)
1001	\$A	CTRL A (SOH)
1002	\$B	CTRL B (STX)
1003	\$C	CTRL C (ETX)
1004	\$D	CTRL D (EOT)
1005	\$E	CTRL E (ENQ)
1006	\$F	CTRL F (ACK)
1007	\$G	CTRL G (BELL)
1008	\$H	CTRL H/BACKSPACE1 (BCKSPC)
1009	\$I	CTRL I/HORIZONTAL TAB1 (HORIZ TAB)
1010	\$J	CTRL J (LF/NW LN)
1011	\$K	CTRL K (VT)
1012	\$L	CTRL L (FF)
1013	\$M	CTRL M/ENTER1 (CR/ENTER)
1014	\$N	CTRL N (SO)
1015	\$O	CTRL O (SI)
1016	\$P	CTRL P (DLE)
1017	\$Q	CTRL Q (DC1/XON)
1018	\$R	CTRL R (DC2)
1019	\$S	CTRL S (DC3/XOFF)
1020	\$T	CTRL T (DC4)
1021	\$U	CTRL U (NAK)
1022	\$V	CTRL V (SYN)
1023	\$W	CTRL W (ETB)
1024	\$X	CTRL X (CAN)
1025	\$Y	CTRL Y (EM)
1026	\$Z	CTRL Z (SUB)
1027	%A	CTRL [ (ESC)
1028	%B	CTRL ¥ (FS)
1029	%C	CTRL ] (GS)
1030	%D	CTRL 6 (RS)
1031	%E	CTRL (US)
1032	Space	Space
1033	/A	!
1034	/B	“
1035	/C	#
1036	/D	\$
1037	/E	%
1038	/F	&
1039	/G	'
1040	/H	(

## ASCII キャラクタ設定用コード表

設定値	Full ASCII Code 39 エンコードキャラクタ	キーストローク
1041	/I	)
1042	/J	*
1043	/K	+
1044	/L	,
1045	-	-
1046	.	.
1047	/o	/
1048	0	0
1049	1	1
1050	2	2
1051	3	3
1052	4	4
1053	5	5
1054	6	6
1055	7	7
1056	8	8
1057	9	9
1058	/Z	:
1059	%F	;
1060	%G	<
1061	%H	=
1062	%I	>
1063	%J	?
1064	%V	@
1065	A	A
1066	B	B
1067	C	C
1068	D	D
1069	E	E
1070	F	F
1071	G	G
1072	H	H
1073	I	I
1074	J	J
1075	K	K
1076	L	L
1077	M	M
1078	N	N
1079	O	O
1080	P	P
1081	Q	Q
1082	R	R
1083	S	S
1084	T	T

## ASCII キャラクタ設定用コード表

設定値	Full ASCII Code 39 エンコードキャラクタ	キーストローク
1085	U	U
1086	V	V
1087	W	W
1088	X	X
1089	Y	Y
1090	Z	Z
1091	%K	[
1092	%L	¥
1093	%M	]
1094	%N	^
1095	%O	-
1096	%W	`
1097	+A	A
1098	+B	B
1099	+C	C
1100	+D	D
1101	+E	E
1102	+F	F
1103	+G	G
1104	+H	H
1105	+I	I
1106	+J	J
1107	+K	K
1108	+L	L
1109	+M	M
1110	+N	N
1111	+O	O
1112	+P	P
1113	+Q	Q
1114	+R	R
1115	+S	S
1116	+T	T
1117	+U	U
1118	+V	V
1119	+W	W
1120	+X	X
1121	+Y	Y
1122	+Z	Z
1123	%P	{
1124	%Q	
1125	%R	}
1126	%S	~
1127		(Undefined)
7013		(ENTER)

## ALT キーセット設定用コード表

設定値	キーストローク
2064	ALT 2
2065	ALT A
2066	ALT B
2067	ALT C
2068	ALT D
2069	ALT E
2070	ALT F
2071	ALT G
2072	ALT H
2073	ALT I
2074	ALT J
2075	ALT K
2076	ALT L
2077	ALT M
2078	ALT N
2079	ALT O
2080	ALT P
2081	ALT Q
2082	ALT R
2083	ALT S
2084	ALT T
2085	ALT U
2086	ALT V
2087	ALT W
2088	ALT X
2089	ALT Y
2090	ALT Z

## GUI キーセット設定用コード表

The Apple™ iMac キーボードは、スペースバーの両隣にあります。

Windows ベースの GUI キーは、左 Alt キーの左側と右 Alt キーの右側にあります。

設定値	キーストローク
3000	右 Ctrl キー
3048	GUI 0
3049	GUI 1
3050	GUI 2
3051	GUI 3
3052	GUI 4
3053	GUI 5
3054	GUI 6
3055	GUI 7
3056	GUI 8
3057	GUI 9
3065	GUI A
3066	GUI B
3067	GUI C
3068	GUI D
3069	GUI E
3070	GUI F
3071	GUI G
3072	GUI H
3073	GUI I
3074	GUI J
3075	GUI K
3076	GUI L
3077	GUI M
3078	GUI N
3079	GUI O
3080	GUI P
3081	GUI Q
3082	GUI R
3083	GUI S
3084	GUI T
3085	GUI U
3086	GUI V
3087	GUI W
3088	GUI X
3089	GUI Y
3090	GUI Z

## PF キーセット設定用コード表

設定値	キーストローク
4001	PF1
4002	PF2
4003	PF3
4004	PF4
4005	PF5
4006	PF6
4007	PF7
4008	PF8
4009	PF9
4010	PF10
4011	PF11
4012	PF12
4013	PF13
4014	PF14
4015	PF15
4016	PF16

## ファンクションキーセット設定用コード表

設定値	キーストローク
5001	F1
5002	F2
5003	F3
5004	F4
5005	F5
5006	F6
5007	F7
5008	F8
5009	F9
5010	F10
5011	F11
5012	F12
5013	F13
5014	F14
5015	F15
5016	F16
5017	F17
5018	F18
5019	F19
5020	F20
5021	F21
5022	F22
5023	F23
5024	F24

## テンキーセット設定用コード表

設定値	キーストローク
6042	*
6043	+
6044	Undefined
6045	-
6046	.
6047	/
6048	0
6049	1
6050	2
6051	3
6052	4
6053	5
6054	6
6055	7
6056	8
6057	9
6058	Enter
6059	Num Lock

## 拡張キーセット設定用コード表

設定値	キーストローク
7001	Break
7002	Delete
7003	PgUp
7004	End
7005	Pg Dn
7006	Pause
7007	Scroll Lock
7008	Backspace
7009	Tab
7010	Print Screen
7011	Insert
7012	Home
7013	Enter
7014	Escape
7015	Up Arrow
7016	Down Arrow
7017	Left Arrow
7018	Right Arrow

## 困ったときは(FAQ)

### \*\*\*\*\* 設定に関するもの \*\*\*\*\*

- 自動読み取り設定(トリガーボタンを押さない)にしたい  
マニュアル P8 「トリガーモード」項目内の[プレゼンテーションモード]のバーコードをスキャン
  
- 新雑誌コードを読みたい  
マニュアル P49 「UPC/EANJAN アドオン」項目内の[アドオンのみ]のバーコードをスキャン
  
- JAN コードの先頭の「0」が読み込まれない  
マニュアル P52 「UPC-A プレマブル」項目内の[国コードを付加して、NS も送信する]のバーコードをスキャン
  
- バーコードの後ろに改行コードを付加したい  
マニュアル P90 「プレフィックス・サフィックス値」項目内の[サフィックス 1]のバーコードをスキャン  
マニュアル P93 「数字バーコード」項目内の[7]、[0]、[1]、[3]のバーコードを順番にスキャン  
マニュアル P94 「送信データフォーマット」項目内の[<データ><サフィックス 1>]のバーコードをスキャン
  
- KeyPad Enter(テンキーエンター)にしたい  
マニュアル P90 「プレフィックス・サフィックス値」項目内の[サフィックス 1]のバーコードをスキャン  
マニュアル P93 「数字バーコード」項目内の[6]、[0]、[5]、[8]のバーコードを順番にスキャン  
マニュアル P94 「送信データフォーマット」項目内の[<データ><サフィックス 1>]のバーコードをスキャン
  
- エクセルで正しく表示されない(・・E+12 と表示される)  
エクセル側の設定によるものです。
  1. 「Excel」のツールバーにて[書式(O)] → [セル(E)]を選択して開きます。または、セルを右クリックして[セルの書式設定]を開きます。
  2. ダイアログ[セルの書式設定]のタブ[書式設定]のリストから[文字列]を選択して[OK]をクリックします。
  3. 書式設定を行ったセルでバーコード入力するとデータ通りに表示されます。設定を行ったセルのみに反映されます。他のセルにも入力する場合は、ドラッグして設定セルを拡張してください。

## 困ったときは(FAQ)

### \*\*\*\*\* 設定に関するもの \*\*\*\*\*

- 符号文字(/、=、\_、@等)が正しく表示されない。  
マニュアル P40 「キーボードタイプ」項目内の[日本版 Windows]のバーコードをスキャン
- Windows98(SE)でドライバーが要求される  
Windows ドライバーインストール画面では[次へ]～[次へ]～と進めてください。自動でドライバーがインストールされます。  
(「Windows98(SE)でドライバーを要求される」の続き)  
これでインストールされない場合は、検索場所の指定で「C:¥WINDOWS¥INF」と指定します。  
(ない場合は Windows の CD-ROM をご用意ください)
- 途中で桁が抜けたり、後半の桁が抜けたりします。  
入力が速すぎることが考えられます。  
マニュアル P41 「キャラクタ間遅延」項目内の[20 ミリ秒]もしくは[40 ミリ秒]のバーコードをスキャン

## 困ったときは(FAQ)

### \*\*\*\*\* ハードウェアに関するもの \*\*\*\*\*

- バーコードリーダーが認識されない  
Windows では、バーコードリーダーは、HID キーボードとして認識され動作します。[デバイスマネージャ]にてキーボードの項目を確認し、正常に認識されているかご確認ください。異常がでている場合は、別の USB ポートに接続するか、バーコードリーダーを接続したまま Windows を再起動してください。
  
- 読み込みが不安定
  1. マニュアル P6 [工場出荷状態に戻す]のバーコードをスキャンしてください。  
マニュアル P39 「USB デバイスタイプ」項目内の[HID キーボードエミュレーション]のバーコードをスキャンしてください。
  2. USB 接続の場合は、使用するポートを変えてお試しください。
  3. USB ハブをご使用の場合は、直接 PC と接続しておためさい。
  4. バーコードの印刷状態が悪い場合は読み込みが著しく悪くなります。
  5. 実際に読み取るコードのみ有効にして、その他のコードを読み取りできない設定にすると、読み取り速度が上がります。
  
- バーコードが読めない
  1. インターフェース設定が変更された可能性があります。  
[USB]でお使いの場合  
マニュアル P39 「USB デバイスタイプ」項目内の[HID キーボードエミュレーション]のバーコードをスキャンしてください。
  2. バーコードの印刷精度の問題(コードのにじみ・ムラ等がないかご確認ください)
  3. バーコードリーダーの性能の限界  
非常に微細なコード(マイクロバーコード)は読めない場合があります。  
ドットインパクトプリンターで印刷されたバーコードは不明瞭なことが多く、読めない場合があります。
  4. バーコードの印刷色・下地の色による問題  
印刷色によっては読み取りにくい場合があります。(青や赤等)  
バーコードの両脇に黒い枠線などがあると、読み取りにくい場合があります。  
印刷されたバーコードの桁数最小値(最大値)より少ない(多い)場合も読めません。

## サンプルバーコード

Code 39



UPC-A



EAN-13



Code 128



Interleaved 2 of 5 (ITF)



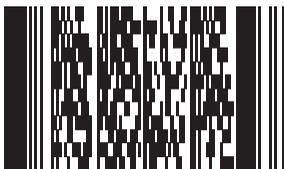
## サンプルバーコード

GS1 DataBar Omnidirectional (RSS 14)



7612341562341

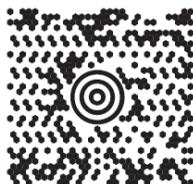
PDF 417



DataMatrix



MaxiCode



QRコード

